

## 第6学年 道徳学習指導案

日 時 平成28年11月1日(火) 2校時

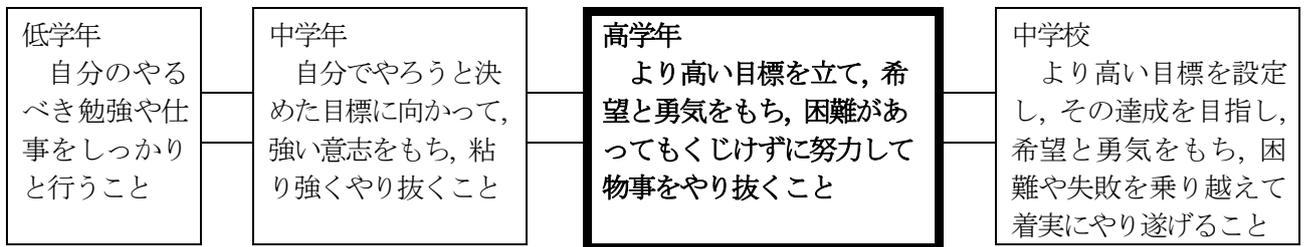
対 象 6年生 22名

授業者 加美山 悦子

- 1 主題名 くじけず努力する強い意志 (A 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 2 教材名 「卒業制作100点満点」(自作資料)
- 3 主題設定の理由

### (1) 道徳的価値について

第5学年及び第6学年の内容の「A 希望と勇気, 努力と強い意志」は「より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、粘り強くやり抜くこと」とある。これは、自分の目標をもって、勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させることに関する内容項目である。この内容項目は、次のように発展していく。



高学年の段階は、児童それぞれが高い理想を追い求める時期であると言われている。一方、自分に自信がもてなかったり、思うように結果が出なかったりして、夢と現実とのほざまに心が揺れる時期でもある。このような時期であるからこそ、様々な生き方への関心を高めるとともに、自己の向上のためにより高い目標を設定することが大切である。そして、その達成を目指して希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力しようとする忍耐力と強い意志、そして、実行力を育てる必要がある。

そこで、児童が障害や困難にあった時に、自分の夢に向かって踏み出す勇気を捉えさせたいと考えて指導してきた。特に、努力し続けることが、自分の将来の道をつくることになり、苦しさを乗り越えることこそ、喜びにつながることを身に付けさせたいと考えている。

### (2) 児童について

1学期の道徳の時間「心をつなぐ音色」では、盲目の主人公がいかなる困難をも乗り越えて、世界コンクールで優勝する姿を通して、自分にも、より高い目標や継続した努力が必要であることについて考えさせた。また、自立し、よりよく生きていくという態度を育てるために、国語科における「未来がよりよくあるために」の学習では、未来にとって自分は大事な存在であることを学んできた。このことは家庭科における「考えようこれからの生活」の学習にも関連させてきた。さらに、音楽科では、日本人がいかなる困難な時代もずっと大事にしてきた歌詞や旋律の美しさについて「滝廉太郎の歌曲」の学習で感じ取らせるようにしてきた。

このような指導を通して自分の夢に向かって踏み出す勇気や努力し続けることが、自分の将来の道をつくることになることを理解し、そのように努力して生きる自己像を形作ってきたように考える。しかし、そのような自己像が形作られる一方で、より高い目標に対して、しりごみしたり誰かの積極的な行動を待っていたりする心の弱さも見られるようになった。そこで、自分の立てた大きな目標に対して「自分がやらなければならない」という、人に頼らず、自分で考え、行動を起こす勇気についてさらに指導したいと考えた。そして、物事を成しえた達成感を味わうことで、困難に打ち勝つことの喜びや、苦しさの中にこそ喜びはひとしお大きいということを感じさせたいと考えた。

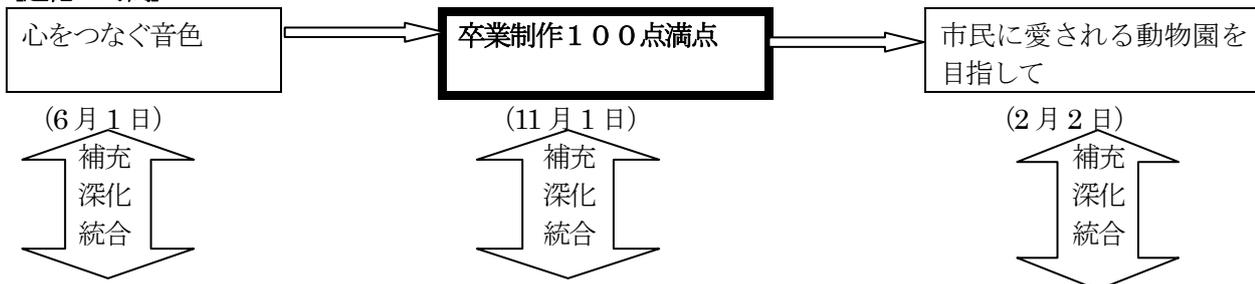
(3) 教材について

夢や目標に向かって、進んでいく中で、大きな障害や困難にあった時でも、どのような考え方や乗り越え方があるかを自分の心に問いかけさせていくために本教材を使って考えさせていきたい。

本教材は、どんなことにもあきらめず自分の努力を重ねていくことが、自分の生きる道を築いていく土台となるということを自分たちと同じ6年生の主人公を通して考えさせやすい教材であると考え。さらに主人公が成し遂げたことは、大人の気持ちや町までも変える大きな力となり大きな夢を果たした実際の話であることから、心に響く教材となると考える。そして、その実在の人物から直接話を聞く活動を取り入れることによって自分の夢に向かってしりごみせず踏み出したり、積極的に行動をとろうとしたりする道徳性を養うことができるのではないかと考える。

(4) 各教科等との関連

**【道徳の時間】**



**【日常の学級経営・・・感性を育む】**

- ・一人一人を大切にすることを学級経営の基盤とする。
- ・日常の担任と児童たちの会話の中で、日常的に感動を共有する。
- ・新聞、ニュース等で希望と勇気、努力と強い意志に関わるものを話題にする。
- ・学級の組織や行事リーダーを中心に、学級や個々のめあてを立て、自分たちで声をかけ合いながら、振り返りをさせる。
- ・歌うことを大切に、朝の会等で歌詞の意味を考えながら、希望や勇気が湧いてくるように心をこめて歌う。
- ・一人一人の誕生日に、担任からのメッセージを学級通信「五稜星」に載せ、頑張っている姿を称賛する。

**【復興教育】**

「まごころを運ぶバス」  
(復興教育資料 P32)

**【各教科等】**

- 国語 未来がよりよくあるために
- 算数 震災の経験を生かそう
- 音楽 滝廉太郎の歌曲
- 家庭 考えようこれからの生活
- 総合 ドリームマップ
- 【児童会】** 第3回誕生集会
- 【学校行事】** 心の授業

#### 4 学習指導過程

(1) ねらい 障害や困難にあった時にあきらめてしまう心の弱さに打ち勝つ気持ちを考えることを通して、夢や希望をもち、粘り強く頑張る心情を育てる。

#### (2) 展開の概要

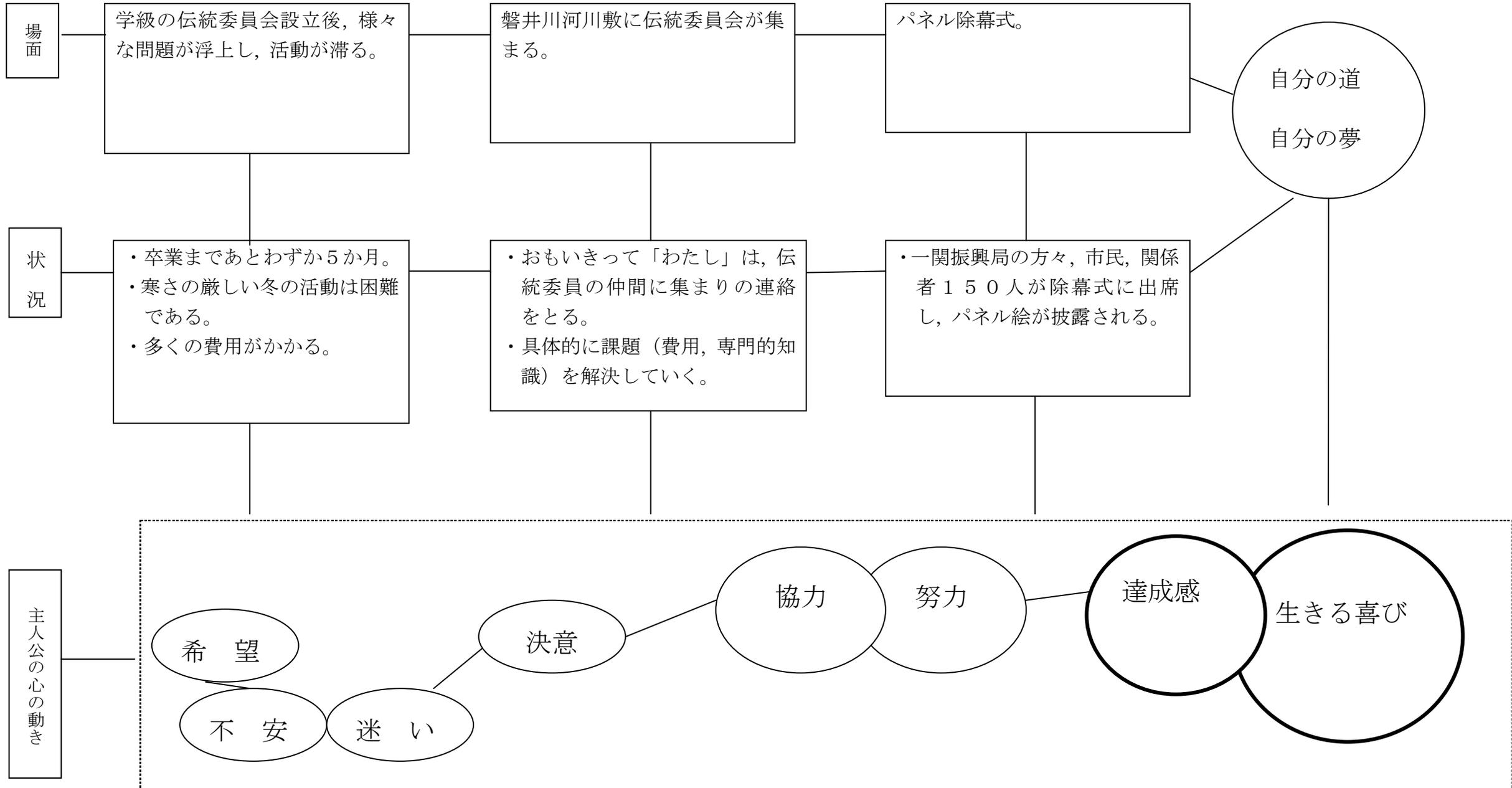
	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
気づく 5分	1 希望と勇気が夢につながることに ついて考える。 ○あなたが描いている夢は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロ野球選手になること</li> <li>・保育士になること</li> <li>・警察官になること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力と夢がつながっていることに気付かせるために「私たちの道徳」のP18を音読する。</li> <li>・それぞれの夢には大きなものも小さなものもあり、どんな夢も努力することが大切であることを捉えるために友だちの夢を知る。</li> </ul>
深める	2 教材を読み課題を立てる。 ○教材を読み、考えたいことを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたし」が伝統委員の友だちに連絡をしたところ</li> <li>・「わたし」が除幕式でパネル画を見つめているところ</li> <li>・夢がかなうということ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「困難に打ち勝ち卒業制作を作り上げた」ということと「夢の達成」とつながることを捉えるために「夢がかなう」という言葉に焦点をあてる。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">「夢がかなう」とはどういうことか考えよう。</div> <p>3 教材を通して自分との関わりで生命の尊さについて話し合う。</p> <p>① 活動に移れず、冬休みを迎えることになった「わたし」は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>② 伝統委員に連絡をとった「わたし」はどんな気持ちだったのでしょう。</p> <p>③ パネル除幕式でパネル画をじっと見ていた「わたし」はどんな気持ちだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もやろうと言いださないし、仕方ないかな。</li> <li>・やっぱり、ゴミ拾いとか掃除のようなものにすればよかったかな。</li> <li>・「わたし」がやろうとしていたことは、難しかったかな。</li> <li>・せっかく立てたわたしの目標をこのままにしてはいけない。</li> <li>・どんなに大変でも自分がやり始めなければ。</li> <li>・これまでだって頑張ってきたのだからもうひとふんばり頑張ろう。</li> <li>・勇気をふりしぼって、伝統委員の友だちに連絡をとって良かったな。</li> <li>・一度はあきらめかけたことだったけれど、頑張ると良かった。</li> <li>・頑張るとこんなにもいい気持ち、幸せな気持ちになるんだ。</li> </ul>	
つかむ 20分			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分もその立場にあったならばということを考えるために自分と主人公との関わりを通して心の弱さ（人間の弱さ）を発表させる。</li> <li>・大変なことや苦手なことにも乗り越える原動力は自分にとって何であったのか考えさせるために、自分のこととして考える時間を与える。</li> <li>・自分の心と周りの人との関わり、打ち勝つ気持ちにも様々な考えがあることをわからせるためにグループでの話し合いを行う。</li> <li>・夢を達成した時の達成感や喜び、生きる原動力を感じ取らせるために、その感動の様子をVTRを使って疑似体験させ、実在の「主人公」の話聞く。</li> </ul>

<p>広 げ る</p> <p>12 分</p>	<p>4 道徳的な価値理解をもとに自己を見つめる</p> <p>④「夢がかなう」とはどういうことですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頑張っ、自分の折れそうな心もふんばって前へ進むもの。</li> <li>・くじけそうな自分を励まし、努力するもの。</li> <li>・一步一步進んでは立ち止まり乗り越え、進んでは立ち止まり乗り越えるもの。</li> <li>・達成した時に自分の喜びや自分の道になるもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のこれからの生活に返すために、これまでの自分に足りなかったことやこれからの自分に必要なことを「ねむの木ノート」に①「夢」②「夢がかなう」③「100点満点」と項目を立てて記述する。</li> </ul>
<p>ま と め る</p> <p>8 分</p>	<p>5 今日の学習で学んだことを振り返りながら「自己の生き方」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生時に作った「命」の詩を読む。</li> <li>・「最後の一步最初の一步」を歌う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「命」の詩を皆で作った活動そのものが目標を達成するという本時のねらいとする道徳的価値につながることを捉えるために、全員に詩を読ませる。</li> <li>・卒業に向かって、夢や希望をもち、粘り強く頑張る気持ちを持ち続けるために「最後の一步最初の一步」を歌い、歌詞を共有し、心に留めさせる。</li> </ul>

(3) 教材の吟味

ねらい 障害や困難にあった時にあきらめてしまう心の弱さに打ち勝つ気持ちを考えるを通して、夢や希望をもち、粘り強く頑張る心情を育てる。

教材名「卒業制作100点満点」  
出典 自作資料



5 推進計画1(重点内容項目)

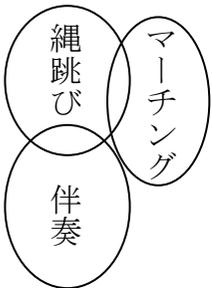
学期	重点内容項目	A希望と勇氣、努力と強い意志	D生命の尊さ	B親切・思いやり
		様々な生き方に関心をもち、計画的に努力目標を立て、くじげず希望と勇氣をもって取り組むこと	生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重すること	誰に対しても思いやりの気持ちをもち、相手の立場に立つて親切にすること
一学期	目指す子ども像	より高い目標に向かって、障害や困難に打ち勝ち、粘り強くやり通そうとする子ども	命は尊いものであることを知り、自他の生命を尊重し、命を大切にしようとする子ども	相手の立場になって考え、誰に対しても温かい心で接しようとする子ども
	道徳の時間	主題・資料名・出典名 心をつなぐ音色(東京書籍)夢に向かって確かな一歩を(文部科学省:私たちの道徳)	命の重さはみな同じ(東京書籍)	車いすでの経験から(東京書籍)
		ねらい 目標を立て、希望や夢に向かって、あきらめずに努力しようとする心情を育てる。	人間や動物の生きることの尊さを知ることから、自他の生命を尊重し、力強く生き抜こうとする態度を育てる。	相手の立場になって考え、誰に対しても温かい心で接しようとする心情を育てる。
	各教科との関連	教育関係行事「市内球技大会」 ・球技大会に向けて取り組んでいく中で、自分なりに目標をもつことの重要性に気づき、練習の中で困難な状況にあったときの気もちの持ち方や、応援のあり方を考える時間を設定する。  総合的な学習の時間「自分を知ろう」 ・自分が興味を持った偉人について調べ学習を行う中で、その人の生き方に触れ、困難に立ち向かった場面を紹介し合い、困難を乗り越える勇氣とたくましさを感じ、手立てをとる。	国語「カレーライス」 ・親子の絆について登場人物の心情をもとに学習しながら、命の意味を考え、家族は自分を大事に思っているということを再確認させる。  家庭科「朝の生活を見直そう」 ・家族との関わりの中で、自分が家族の一員として大事な存在であるということを確認する時間を設定する。	保健「病気の予防」 ・自分が健康に暮らすために、家族や地域の人々の支えがあることに気づき、自分から健康に暮らしていくための生活行動を主体的に行うことの大切さを考える時間を設定する。  国語「伝えにくいことを伝える」 ・日常生活において、自分の気もちを伝えるには、相手の主張を聞き、話し合うことが大切であることを考え、言葉や表現を選んでコミュニケーションをとる練習を行っていく。
二学期	目指す子ども像	夢や希望を高くもち、その実現のためにくじげずに歩んでいこうとする強靱な意志をもつ子ども	自他の生命を尊重し、自らも何かできることはないか考え、協働的に命を大切にしようとする子ども	思いやりや親切についての考えを深め、分け隔てなく親切にしようとする子ども
	道徳の時間	主題・資料名・出典名 卒業制作100点満点	ふぶきの夜(岩手県の資料)	心に通じた「どうぞ」のひとつ(東京書籍)
		ねらい 障害や困難にあった時にあきらめてしまう心の弱さに打ち勝つ気持ちを考えることを通じて、夢や希望をもち、粘り強く頑張る心情を育てる。	郷土の話から生きることの尊さを実感し、自他の生命を尊重し、自らが協働的に命を重んじる態度を育てる。	相手の立場に立つて思いやりの心をもち、親切にしようとする心情を育てる。
	各教科との関連	総合的な学習の時間「ドリームマップ」 ・自己を見つめ、自分の将来を「ドリームマップ」にして考える活動において、夢の実現のために必要なことを客観的に見つめ、表現する時間を設定する。  国語「未来がよりよくなるために」 ・資料「平和のとりでを築く」を通して、戦争の時代を生き抜いた人々のたくましさを感じ、未来をよりよく生きていくための意見交流を活発に行う。	総合的な学習の時間「自分の将来を探ろう」 ・自分の生活をふり返り、これからの生き方を探る活動において、自分を大切に思い、また、他を思いやることの重要性について考える時間を設定する。  社会科「戦争から平和への歩みを見直そう」 ・太平洋戦争に至るまでの背景を学習しながら、多くの人々が犠牲になった時の人々の気持ちを推し量り、人々が支えあって生きてきた背景を感じ取り、かけがえのない命について考えるようにする。	学校行事「感謝集会」 ・今まで自分たちを支えてくれたことに感謝すると共に、相手を思いやる気持ちや行動する態度を育てていく。  社会科「わたしたちの暮らしを支える政治」 ・地域の様子や住民たちの願いを調べながら、人びとの願いをかなえ社会の問題を解決するための政治のはたらきについて理解を深め、お互いを思いやり行動することによってよりよい社会が生まれることに気付く意図的な指導を組む。
三学期	目指す子ども像	夢や希望を高くもち、共に、挫折感を克服する人間の強さにも考えを深めて、くじげずに理想に向かって歩んでいこうとする強靱な意志をもつ子ども	日々の生活の中で、生命ある全てのものを慈しみ、命に感謝し、生きる力とする子ども	思いやりや親切についての考えを深めた上で、相手が本当に必要なとしていることを意識しながら行動できる子ども
	道徳の時間	主題・資料名・出典名 市民に愛される動物園を目指して(学研)	東京大空襲の中で(東京書籍) かけがえのない命(文部科学省:私たちの道徳)	最後のおくり物(文部科学省:私たちの道徳)
		ねらい 希望をもつことの大切さに気づくと共に、挫折感を克服する人間の強さにも考えを深めて、くじげずに理想に向かって前進していこうとする態度を育てる。	生きとし生けるものを慈しみ、かけがえのない生命を大切にしようとする態度を育てる。	思いやりや親切についての考えを深め、思いやりの心が伴った親切をしようとする態度を育てる。
	各教科との関連	社会科「世界の中の日本」 ・外国の様子を日本と比較し、日本のよさに触れる時間を持ちながら、歴史の歩みを振り返り、現在に至るまでの人々の努力について考えていく。  児童会行事「金管の引き継ぎ」 ・自分たちが行ってきた金管練習をふり返り、努力と練習の大切さに改めて気づかせ、確実に後輩に引き継いでいくことの大切さを再認識させる活動を意図的に取り上げていく。	国語「ゆずり葉」音楽「ハナミズキ」 ・詩の学習と「ハナミズキ」を通して、生きていく上で大切なことは何なのか、自分の生き方について見つめ直し、自他の生命について尊さを改めて考えていく。  行事「卒業証書授与式」 ・小学校生活の集大成として臨む「卒業式」の練習の中で、自分を客観的にふり返り、家族に対する感謝を素直に感じたり、自分の生き方を見つめ直したりする活動を意図的に取り上げていく。	児童会行事「第3回誕生集会」 ・今までの誕生集会を振り返りながら、自分たちはたくさんの人たちに支えられて育っていることを再認識するとともに、自分が受けた優しさを他にも伝えようとする考えを確かめる時間を意図的に設定する。  家庭科「考えようこれからの生活」 ・身近な人びととの関わりについて考え、自分の気もちの伝え方を考えて実践する時間を設定する。

推進計画2 (学級における道徳指導計画一覧)

重点	学期	道徳の時間 ・道徳副読本 ・私たちの道徳	学校諸行事	児童会行事 学級活動 斜体は児童会目標	復興教育 「いきる」 「かかわる」 「そなえる」	国語	社会	算数	理科 生活	音楽	図工	家庭	保健 体育	総合的 な学習	外国語 活動
希望と勇気・努力と強い意志	1	心をつなぐ音色 (東京書籍) 夢に向かって確かな 一歩を(文科省)	始業式 運動会 市内球技大会	児童総会 運動会を成功させ よう・正しい廊下歩 行を心がけよう(5 月) さしすせそうじに取り 組もう(7月)	<かかわる> 遠野に「まごころ」 集まった	時計の時間と 心の時間	海をこえた人やもの	円の面積の求め方 を考えよう	生き物のくらしと環境	豊かな歌をひびか せよう	強くてやさしい組み 木パズル	きれいにしようクリー ン大作戦	休づくり運動	<b>自分を知ろう</b> ・偉人について調 べ、生き方を考え る。	Lesson3 I can swim.
	2	卒業制作100点満点 (自作資料)	市内陸上記録会 マラソン大会	マラソン大会に向 けて心と体をきたえ よう (10月) ボランティア活動を 積極的に行おう(12 月)	<かかわる> まごころを運ぶ バス	<b>未来がよりよ くあるために</b> 伝えられてきたもの	自由民権運動 が広がる ノルマントン号 事件と条約改正	震災の経験を生か そう	てこのはたらき	滝廉太郎の歌曲	木版画	考えようこれからの 生活	生活習慣病の 予防 器械運動 ボール運動	<b>ドリームマップ</b> ・自分の思いや将来 の夢をドリームマッ プに表して考える。	Lesson5 Let's go to Italy.
	3	市民に愛される動物 園を目指して(学研)	スキー教室 卒業証書授与式	6年生を送る会 児童総会 1年のまとめをし、 卒業・進級をしよう (3月)	<いきる> 夢、勇気を持っ て一歩踏み出 そう	かなえられた願い	<b>世界の中の日本</b> 国際協力と日本の 役割	算数のまとめ	電気と私たちのくらし	コンドルは飛んでいく	12さいの力で	考えようこれからの 生活	地域の保健活動	自分の将来を探ろう ・将来の目標を見据 え、そのためにどのよ うな努力が必要か考 える。	Lesson8 What do you want to be?
生命の尊さ	1	命の重さはみな同じ (東京書籍)	交通安全教室 避難訓練 防犯教室 JRC登録式	第1回誕生集会 絆募金 元気に大きな声で あいさつをしよう(4 月) 歌声を響かせよう (6月)	<いきる> 20キロ圏内から 来たキティ 森へ	<b>カレーライス</b>	米作りが始まる	およその面積 や体積を求めよう	動物のからだのは たらき 植物のからだのは たらき 生き物のくらしと環 境	おぼろ月夜 われは海の子	感じたままに花	<b>くふうしよう期の生 活</b>	病気の予防 水泳 表現運動	自分を知ろう ・自分の生き方を話 し合いを通して探 る。	Lesson2 When is your birthday?
	2	ふぶきの夜 (岩手県の資料)	祖父母参観 集団下校訓練 避難訓練	第2回誕生集会 絆募金 しっかり食べよう (8・9月) 進んで読書に取り 組もう(10月)	<そなえる> 正確な情報の 発信・収集・判 断	未来がよりよくなる ために 平和のとりでを築く イーハトーヴの夢	<b>競争から平和への 歩みを見直そう</b>	速さの表し方を考え よう	変わり続ける大地	ふるさと	星のうた	くふうしよう楽しい食 事	生活習慣病の予防	<b>自分の将来を探ろう</b> ・自他を大切に思 い、自分の役割を考 える。	Lesson6 What time do you get up?
	3	東京大空襲の中で かけがえのない命 (文科省)	心の授業 卒業証書授与式	第3回誕生集会 絆募金 <b>金管引継ぎ</b> 6年生を送る会を成 功させよう(2月)	<かかわる> 世界がぜんたい い幸福になら ないうちは	生きる <b>ゆずり葉</b> 海の命 生き物はつながり の中に	日本国憲法 基本的人権の尊重 平和主義について 災害から人々のくらし を守る政治の働き	量の単位のしくみを 調べよう	地球に生きる	心をこめて表現しよ う <b>ハナミズキ</b>	思いを一文字 に	成長したわたしたち	薬物乱用の害と健康	一枚の写真に思い をこめて ・自分の幼い日を振 り返り感謝の気もち を感じ取る。	Lesson7 We are good friends.
親切・思いやり	1	車いすでの経験から (東京書籍)	入学式 1年生を迎える会	1年生を迎える会 なかよしT	<いきる> 「もっこ」で弁当 配達 <そなえる> 応急手当のし かた	ようこそ、私たちの町 へ <b>伝えにくいことを伝 える</b>	大陸に学んだ国づくり	かたちであそぼう	地球と私たちのくらし	いろいろな音のひび きを味わおう	わたしのお気に入りの 場所	暑い季節を快適に	<b>病気の予防</b> 体ほぐしの運動1	自分を知ろう ・自分を知ることで 周りの人のことも理 解する。	Lesson1 Do you have "A"?
	2	心に通じた「どうぞ」 のひとこと (東京書籍)	修学旅行 親子美化活動 <b>感謝集会</b>	なかよしT	<かかわる> 人々をつない だ歌声 <そなえる> そのとき、どう する?	「鳥獣戯画」をよむ	<b>わたしたちの暮らし を支える政治</b>	かたちであそぼう2	大地のつくり	和音の美しさを味わ おう	布と枝のコンサート	生活を楽しくしよ うソーイング	体ほぐしの運動2	<b>自分の将来を探ろう</b> ・友達の夢を知る。	Lesson4 Turn right.
	3	最後のおくり物 (文科省)	租税教室	なかよしT <b>第3回誕生集会</b> 6年生を送る会	<いきる> 多くの命を救っ た防災無縁 <かかわる> 未来のために	未知へ	世界の人々とともに 生きる	世界にほこる新幹線	地球に生きる	日本と世界の音楽 に親しもう	白の世界	考えようこれからの 生活	体ほぐしの運動3	一枚の写真に思い をこめて ・これからの生き方 に親切や思いやりの 必要性を感じる。	Lesson7 We are good friends.

# 卒業制作 100点満点

「夢がかなう」とはどういうことか考えよう。



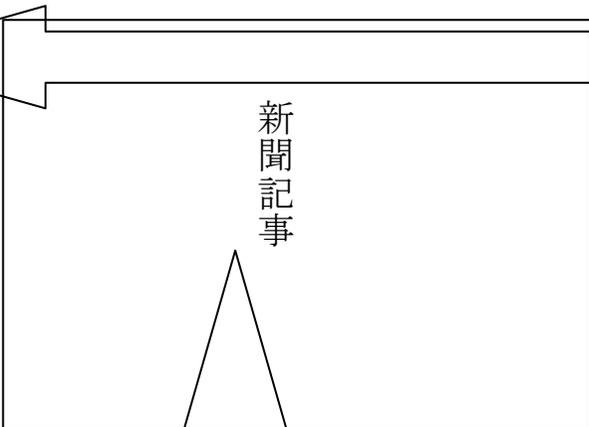
- ・誰もやろうと言いきかないし仕方ないかな。
- ・やっぱりゴミ拾いとか掃除のようなものにすればよかったかな。
- ・わたしがやろうとしていたことは難しかったかな。

- ・せっかく立てたわたしの目標をこのままにしてはいけない。
- ・どんなに大変でも自分がやり始めなければ。
- ・これまでだって頑張ってきたのだからもうひとふんばり頑張ろう。

デザイン画

夢

- ・勇気をふりしぼって伝統委員の友だちに連絡をとってよかった。
- ・一度はあきらめかけたけど頑張ってよかった。
- ・頑張るとこんなに幸せな気持ちになるんだ。



生きる道

わたしの  
命が輝く

人と人との  
つながり

人を助ける

輝いた思い出

ふんばって前へ進むもの  
自分を励ますもの  
乗り越えるもの  
自分の喜びや力となるもの

## 卒業制作100点満点

平成十二年三月十日、学校の通学路である五十人町跨道橋（アンダーパス）のパネル完成の除幕式が行われた。そこには、一関小の六年生が描いた「一関の四季」が飾られている。

### こ道橋をみんなできれいに

### 一関小6年生 卒業記念 パネル画を除幕



卒業記念のパネル画を除幕する児童ら

H12.3.12(日)

一関市立一関小学校（及川和彦校長）の六年生百二十三人が卒業記念として製作した、主要地方道一関大東線五十八町こ道橋の歩道に設置するパネル画（一・八村四方）が完成し、十日、同こ道橋で除幕式が開かれた。

パネルの設置は、「汚れているこ道橋を清掃するとともに、みんなで絵を描いてきれいにしたい」という児童の声を、一関地方振興局がくみ上げ、県建設協同会一関支部青年部が企画に協力する形で実現した。二十一世紀に残したい

「一関の宝」をテーマに児童が製作した画題は、一関の四季。フナやオシドリ、夏まつり、厳美溪などをクラスごとに担当し、二月下旬から約一カ月間、放課後やゆとの時間を利用して取り組んできた。

除幕式には、六年生と教職員をはじめ、照井崇一関地方振興局長、県建設協同会一関支部青年部の佐藤清一会長ら関係者が出席。児童を代表して伊藤麻衣さんが「十年、二十年後、またパネルが残るのは素晴らしいこと。伝統として残したい」、竹岡英紀さんが「製作を通じて多くの人に支えられていると実感した」とそれぞれ感想や感謝の言葉を語り、除幕した。

平成十一年十月二十六日、学校を愛する気持ちを考える道徳の学習後、六年一組の学級の友だちから「学校や地域に残していくものを考えたい。」という提案が出された。学校周辺のごみ拾い、アルミ缶集め、花の種植え、ベルマーク集め、公園や公衆トイレの掃除、駅の掃除、募金活動等、たくさん案がある中「大町に行く方向にあるトンネルをきれいに掃除したい。できれば、色をぬって明るくしたい。」という案が取り上げられ、それをかなえるための伝統委員会が設けられた。わたしも伝統委員の一人に加わった。

ところが、ある日の伝統委員会の中で

「卒業まであと数ヶ月しかないよ。」

「冬だし、活動するには寒いよ。」

「かかる費用はどうするの。」・・・

と仲間から後ろ向きな発言が出始めた。そのため、誰も前へ物事を進めようとしなかった。わたしも活動は行いたいものの、やはり、頑張る一步を踏み出すことができず、冬休みを迎えることになってしまった。そして、そのまま活動は消滅するようにも思われた。

冬休み中ということもあり、わたしたちが学校へ集まる機会は全くなくなってしまった。

（このままでいいのかな。）

（わたしは、いったい何をしているんだろう。）

そんなことを考えていると、これまで六年間通った跨道橋が目に見えなくなった。そして、頑張っただけ披露したりリズム縄跳びや毎日練習した「赤い屋根の家」のピアノ伴奏、県南マーチングフェスティバル・・・あんなこともこんなことも乗り越えてきたのに・・・。だからこそ、小学校生活最後の努力を見せるべきではないのかという思いがどんどんふくらんできた。



わたしは、伝統委員の友だちに

「集まって話し合いをもとうよ。」

と電話をかけた。一日では、了解がとれず、何日もかけて一人一人説得した。

年が明けた数日後、わたしたちは、河川敷へ集まった。

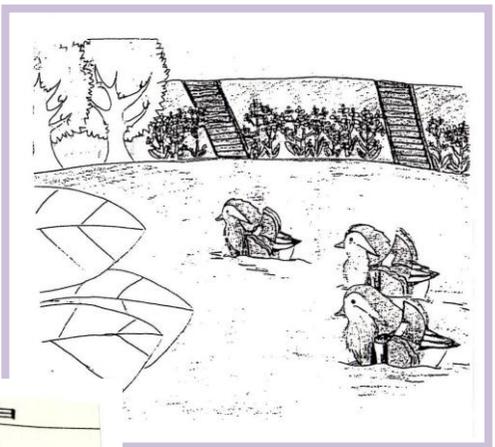
「振興局へ相談しようよ。」

わたしは、おもいきって言った。伝統委員のみんなもわたしの気持ちに気持ちよく応えてくれた。自分が、悩み、もがき苦しむ、そして努力している時、決して一人ではなく、周りの人もまた、その気持ちに伝えてくれるのだと思った。そして、わたしたちの話合いが始まった。わたしたちの取り組み方としていたことは、大人の心を動かさなければ成し遂げられないことだった。しかし、もうわたしの心は揺るがない。なぜなら、十年後、二十年後にわたしのいた証をこの町に残したいからだ。この町を子どもたちの力でも変えられるということを実証したいからだ。

わたしは、両親にも相談し、振興局へ連絡をいれた。すると、話を聞いてくれた一関市振興局土木部の山下さんがわたしたちの思いを受け取ってくださり、会議の中に取り上げてくれたのだ。

冬休みが明け、学級の全員が伝統委員の思いに賛同してくれた。わたしの気持ちはさらに盛り上がった。そして完成へ向けて様々な取組が始まった。

実際に壁に絵を描くことは難しいので、パネルを使うことにした。ペンキ代は、土木の協力を得るということになった。専門的知識は、岩淵建設に協力していただくことや、一組だけでなく、学年全体で卒業制作にすることになった。テーマは「二十一世紀に残す一関の宝」Ⅱ「一関の四季」に決まった。それから約一ヶ月。待ちに待ったパネルの完成の日を迎えた。



「一関の宝」をテーマに  
壁に設置 パネル画を制作  
小生 一関 6年

川功至校長の六年生三十三人が卒業記念として主要地方道一関大東線五十人町と道橋の歩道部分の壁も完成間近となっており、取り組んでいる児童は、パネル画は、一八八〇年を通過路としている児童の「落書きで汚れた壁を自分たちの絵で飾りたい」と世紀に残したい「一関の宝」制作は二月上旬から放

後に行っており、仕上がりも間近。アルミ複合板で出来た大きな「カパス」に建物用の塗料を使って描く絵は、児童も初めてだが「楽しい」と熱々と制作に打ち込んでいます。十日に行われる設置作業や絵をパネルにはめ込む作業は、「子供たちの気持ち」を大切にしたい」と企画にも関与した建築協会一関支部の青年部（佐藤清一会長）が協力する。同校では、同道橋へのパネル画の設置を新年度以降も継続したい考えで、道橋を管理する一関地方盛興局土木部も歓迎する意向を示している。

わたしは当時の思いを次のように書き記している。

「様々な問題があり、一時はあきらめかけていました。しかし、ほとんど毎日のように制作に取り組み、がんばりました。大変でしたが、完成が近づくとかわくわくして、さらにはがんばる気持ちがありました。完成した時には本当にうれしかったです。

卒業記念パネルの完成を喜ぶ一関小6年生の児童たち



主な材料費は県建設業協会一関支部青年部(佐藤清一会長)が支援した。6年生と関係者約百五十人が出席した除幕式で、伊藤麻衣さん(三)と竹真美紀さん(三)が代表して「何十年もの街に私たちの絵が残るなんて本当にうれし」と感謝の言葉を述べ、児童らが一斉に除幕した。春は市の花馬木である菜の花、オシドリ、ブナ。夏は市指定文化財「時の太鼓」や一関まつりの花火、七夕飾り、秋は厳美溪の紅葉、冬は磐井川の白鳥と、四季折々の特徴を色鮮やかに描いている。

六年四組の鈴木彩乃さん(三)は「白馬の目やくちばしなど細かい部分が大変だった。百点の出来です」と満足そうに笑顔を浮かべていた。

# 恩返し 通学路を美しく

## 卒業制作 100点満点

□一関小□

一関市宇嶋神の一関小(及川功至校長、児童七百十三人の六年生百一十三人は卒業記念として同市五十人町の通学路に一関の四季を描いたパネル四枚を設置した。場所は在来線の線路下を交差して走る県道一関・大東線の歩道の壁。「いつも落書きなどで汚れていた壁を自分たちできれいにしたい」との願いを込めた。十日に現地除幕式が行われ、通学路に明るく楽しい絵が披露された。児童たちは「いい思い出になった」と喜んでいた。

## 四季描く。パネル設置

一組(担任、)の道徳の授業。地域愛や裏校心について学んだときに、児童から「通路の壁が汚れているので掃除して卒業記念の絵を飾りたい」という声が上がった。

教師側からテーマに「二十世紀に残したい一関の宝」を提案。児童たちが一関の四季を選んだ。季節ごとの題材を一四組で分担。二月から作業を始め、三月初めに完成させた。約一・八坪四方のパネルやべ

このことは一生、思い出に残ると思います。十年後、二十年後もこの町にこのパネルが残っているということは、とても素晴らしいことです。誇りに思います。」

温かい家族と地域の多くの人々の支えによって、小学校生活を過ごしてきた。そのことに感謝の気持ちを持ち、わたしにできることを考え、強い志をもってあきらめず必死に取り組んできたあの頃。

わたしの夢がかなった、平成十二年三月十日・・・それは、わたしたちの小学校卒業式、八日前だった。

卒業制作百点満点。わたしは、わたしに負けなかった。そのことが百点満点であり、卒業制作は、わたしのこれからの道を創ったと思っています。その道は、今もなお、生きる喜びになっている。